

2021年3月17日

## —2020年度千葉県代協第4回CSR委員会議事録—

開催日時：3月9日(火)15:00～ Webex 利用

出席者：大塚俊典（市原） 東條史（京葉） 田原豊（千葉） 池辺晃司（東葛） 倉富宗久（北総）  
青木繁（木更津） 宮内靖生（銚子） 間立徹（安房） 伊藤綱人（茂原）

オブザーバー：小口泰伸(会長)

議題内容： 2020年度の振り返りと新年度のCSR活動について

はじめに会長より、会員個々の感染予防とお客様に対する対策徹底の要請があった。また日本代協の臨時総会においてCSR委員会に要請された防災減災の推進、ならびに新規事業として示された、ハザードマップの情宣普及、BCP策定推進について共有がなされた。金融庁からの要請として東日本大震災の発生から10年の節目の発生時刻に黙禱を捧げることの紹介があった。

### 1. 協議事項

#### (1) 赤い羽根共同募金推進の成果と寄付先団体の選定

委員長より、募金の寄付先として設定されたテーマの内、いのちの電話については緊急性、必要性が高いことから既に先行して運営団体に寄付が行われている旨伝えた。

コロナ対策支援(フードバンクちば、生活困窮ホームレス自立支援ガンバの会など)子どもへの支援(ミルフィーユ小児ガンフロンティアーズ、千葉県児童福祉施設協議会など)、子育て支援(子ども劇場千葉県センター、世界のともだち)、高齢者支援(認知症の人と家族の会)、被災者・被災地支援の中から選択することとし、各委員から推薦するテーマと推薦理由を発言いただいた。池辺委員は虐待報道の多さから子どもへの支援を推薦した。宮内委員、間立委員、東條委員がこれに賛同した。田原委員から被災地の現状を踏まえると継続的な支援がまだまだ必要であること、損保代理業という我々の仕事の性格からも被災者・被災地支援は外せないとの意見があった。比較的募金額も多く集まっていることからワンテーマに絞り込まずに、2つのテーマに均等に寄付することを委員長より提案し、青木委員、倉富委員、大塚委員からも賛同を得られた。

#### (2) 献血活動推進の成果と次年度への課題

委員長より、案内文書と特設献血会場案内、常設献血ルーム情報を定期的に全会員宛に周知する方法で通年広報をすることを提案した。また献血ルームで献血希望したが服薬中のため献血に至らなかったこと献血できることは健康が前提で意思があったとしてもできないことを考えると献血で必要な血液を確保することがいかに困難か身を

もって実感した旨報告した。青木委員から木更津支部の取り組みとして支部内でファクスによる案内しモノレール駅献血ルームで支部員 2 名が献血、支部会員のお客様が 2 名献血したと紹介があった。また北総支部内で 2 会員の献血実施が倉富委員から紹介があった。

### (3)2020 年度の各事業の振り返りと新年度の活動について

続いて委員長より 2020 年度の各事業を振り返り、コロナ感染の状況下の取り組みについて謝意を伝えた。

#### ①ぼうさい探検隊について

新年度の募集が既に開始していることと何故代協で取り組むかについて、大阪北部地震での犠牲者の事例を交えて共有した。その後、募集チラシの入手方法、支部名押印と配布要領を解説した。市原支部では支部名押印を配布チラシが大量のため直接印刷している旨、大塚委員から紹介があった。銚子、東葛支部に支部名入ゴム印を再送する。

#### ②各キャンペーンについて

無保険バイク追放について、約 2 割もの無保険バイクの存在があること。東葛支部池辺委員の交通安全協会へのノベルティ配布協力要請や銚子支部宮内委員の取り組み自店周辺の 10 駅を巡回し原付 14 台に配布した内、期限ステッカー未貼付 3 台、期限切れ 2 台を発見したとの活動などコロナ感染下でも実施可能な取り組みの工夫を次年度も共有しノベルティを各支部で活用することとした。

自動車盗難防止キャンペーンについても自動車盗難が都市部を中心に高止まりしている現状から実施意義を再確認いただいた。また地震保険普及については千葉の地震保険付帯率の伸びが鈍化している一方、千葉県より付帯率が大幅に上がった熊本県では熊本地震時の保険金支払い金額が支払ランキングの 2 番目に位置付けられるなど被災地の生活再建に大きく寄与しているデータを共有し地震保険普及キャンペーン推進の意義を再確認いただいた。

#### ③その他

青木委員からの情報提供として、トレーラー型罹災時トイレ配備のクラウドファンディングに木更津支部から 10 万円拠出したとの報告があった。目標の 500 万円を大幅に超える 1480 万円集まり君津市への配備が実現した。このトレーラー型トイレは令和元年 15 号台風の際に静岡県から提供され大いに役立った経験から配備のきっかけが生まれたものである。支部独自の地域に根差した活動は CSR の理想のあり方であるので積極的推進をお願いしたい。

来年度もコロナ感染の影響は免れないと思われるが 2020 年度の活動を踏まえて引き続き推進をお願いします。

次回開催日未定であるが、6 月第一週の代協の他行事、他事業と重複しない日時を早急に決定し案内することとする。